



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

△原図用紙株式会社製



小惑星探査機「はやぶさ」 Asteroid Explorer HAYABUSA

地球や火星、金星といった惑星は、誕生する際に高い温度になってドロドロに融けてしまい、重い芯と軽い表面物質に分離してしまったため、できたときの材料や状態に関する情報をほとんど残していません。これに対して小惑星は、もともとの材料に関する情報を残しています。小惑星は太陽系のタイムカプセルなのです。

小惑星から表面物質を持ち帰る技術が確立されれば、太陽系がどのような材料から、どのような過程を経てできあがったか、さらには惑星ができあがったころの太陽系の様子はどんなものだったかを知ることができます。持ち帰った物質はごくわずかでも、太陽系誕生の謎に迫る貴重な試料となるのです。「はやぶさ」は小惑星に近づいて、そのかけらを地球に持ち帰る技術を確立するための、工学実験探査機です。

大 き さ : 6m×4.2m×3m(太陽電池パネル、サンブラーホーン展開時)
1m×1.6m×1.3m(衛星本体)
重 量 : 510kg(打ち上げ時、燃料タンクを含む)
打 ち 上 げ : 2003年5月9日 13時29分25秒(日本時間)
「イトカワ」到着 : 2005年9月12日(小惑星から520km離れたゲートポジションに到着)
帰 航 開 始 : 2010年6月13日